



# 454人の新成人にエール!

まちの  
わだい

～次代担う20歳の  
パワーに期待～

平成18年阿蘇市成人式が1月8日、阿蘇体育館で行われました。

阿蘇市が誕生して初めての成人者となった今年の対象者は昭和60年4月2日から昭和61年4月1日に生まれた454人。式典に出席した321人とこの日を何より喜ばれている保護者などを前に、市長がお祝いの言葉と『栄光への架け橋』を歌い激励。また地元国会議員、県議会議員、市議会議長からの心温まる祝辞も皆、真剣な表情で聞き、成人者としての責任と義務をしっかり受け止めていました。



続いて、高日哲也さん(坂の上)、三管理恵さん(内牧5区)が交通安全宣言を行い、最後に成人者を代表して丸野公士さん(古神2区)が「家族や恩師、友人など皆さんの支えで今日を迎えることができた。これから相手を敬う大きな心、困難に立ち向かう勇氣、自分の道を切り拓いていく夢と希望を持って進んでいきたい」と謝辞を述べ、参加者の新たな決意とともに式典を終えました。



▲謝辞を述べる丸野さん



▲交通安全宣言を行う高日さんと三管さん



▲阿蘇坊中人力車もお祝いに  
駆けつけ乗車をサービス



# 阿蘇五岳を背景に凜々しく

## 消防団出初め式



熊本県知事表彰者(25年以上)

鳴川三郎(第3分団分団長) 阿南末雄(第7分団分団長)  
高日義幸(第9分団副分団長) 岩下常俊(第9分団団員)

阿蘇市勤続表彰(10年) 34名

退団者感謝状 71名

### トピックス 41年間にピリオド

退職者感謝状を受けられた中に、勤続年数41年という方がいらっしゃいます。波野の佐藤義勝さんです。佐藤さんは昭和39年に入団。以来消防活動に尽力され、昨年2月まで波野村消防団長また阿蘇郡消防協会長として活躍されました。

郡市のランナーが一同に集う伝統ある「第31回阿蘇郡市民マラソン大会」が1月15日、阿蘇体育館をスタート、ゴールに行なわれました。種目は小学男子・女子2km、中学女子・高校女子3km、中学男子・一般男子5km、高校男子・一般男子10km。

出場した202人のランナーは懸命に記録更新をねらい、北外輪のふもと湯浦地区(通称鍋づるの線)のコースを走りました。

入賞者は次のとおり(阿蘇市民のみ掲載)

小学男子	1位	園田 晃大(碧水小6年)
小学女子	2位	伊藤 栞(宮地小6年)
一般男子(5km)	1位	森本絢太郎(文徳高校1年)
	2位	木村 文彦(西仲町)
一般男子(10km)	3位	中島 慎治(南宮原)

## 阿蘇郡市のランナーが健脚競う



▲一斉にスタートする選手

## 富山県の造園家が「雪吊り」づくり披露



阿蘇市造園協会(今村孝典会長ほか4人)は、研修の全国大会で意気投合した富山県造園業協同組合連合会青年部富山西支部12人を招き、1月13日、阿蘇市で交流会を実施。富山のメンバーは、この美しい阿蘇市にぜひ富山の「雪吊り」をプレゼントしたいと、翌日、内牧のホテル角萬の樹木を利用し実演されました。

この作業に阿蘇市をはじめ、日造連熊本県支部青年部のメンバーも参加。見事な腕前に通行する地元の人たちも珍しそうに眺めていました。雪の多い地方で樹木を守るための「雪吊り」はかかせないもの。「景観もよく、阿蘇でも合う」とメンバー。技術者のこうした交流は新しい発見につながりいいことですね。

## 阿蘇坊中温泉「夢の湯」ご愛顧ありがとうございます

市営温泉センター「阿蘇坊中温泉・夢の湯」が平成15年7月1日のオープン以来、1月13日で利用客が30万人を突破しました。

夢の湯は、古民家風の造りで、昨年、癒しの杜庭園と駐車場も完成。入浴後くつろげる空間が自慢です。スタッフも揃いの衣服で迎えてくれます。

13日、記念すべき30万人目の入湯者となったのは、坂梨地区の市原智さん(19歳)。午後8時半、夕刻から花束抱え待っていた地元市議会議員、まちづくり商工観光課や阿蘇市地域振興公社(管理業者)の職員らは、市原さんが玄関に入るとにこやかに感謝の意を伝え、記念品を贈りました。



▲友達3人と来た市原さん(前列中央)。「週1回くらい来ています。父の方がもっと来てるのに…僕の方が当たりました。ここは、スタッフの方がなごみ系で感じいいですね」

入湯者早くも  
**30万人**

←露天風呂とサウナが人気。  
市民料金有(大人200円、小人100円)。

## 全国都道府県男子駅伝大会で健闘

～園田将之君～

1月22日、広島県で開催された第11回全国都道府県対抗男子駅伝大会に、鎮西高校3年の園田将之君(元黒川)が出場、花の1区をまかせられ区間22位と健闘しました。

高校生区間の1区(7km)には、全国の有力者が勢ぞろい。園田君は走った感想を「順位に納得できない。最後スピードにのれなかった」と、トップとのタイム差は小さいものの、やや悔しい様子。2月の熊日郡市対抗駅伝では持ち前の走りで阿蘇郡市を優勝に導いてくれるはずです。

なお、園田君は高校駅伝でもエース格としてチームをまとめてきました。春からは駅伝の名門駒沢大学へ進み箱根を目指します。



▲写真はインターハイ県予選のもよう。先頭を走るのが園田君。(パルクドームで6月開催)



## 消防団のお兄さんと

『火の用心!』

坊中地区の子ども会と地元消防団は共同で、火災予防を呼びかける夜警を企画し、年末、地域を巡回しました。

消防団との夜警は、子どもたちに防火の知識を身に付けようと今回初めて行いました。日没後、公民館に集まった子どもたちは、消防団員の説明を受けた後、夜警に出発。拍子木をたたき「火の用心!」と大きな声をかけながら保護者らと地域を回り、防犯意識を高めました。

◀坊中公民館で消防団員から説明を受ける子ども達。

## 男女共同参画地域セミナー開催

男女共同参画地域セミナーin阿蘇(男女共同参画地域ネットワーク、阿蘇地域振興局主催)が12月19日、阿蘇市内のホテルでありました。

同セミナーは阿蘇の地に男女共同参画の輪を広げようと開かれたもので、阿蘇市や阿蘇郡内町村の女性団体、各職場などから約170人が参加しました。

開会にあたり、阿蘇地域振興局保健福祉環境部の澤田日出夫副部長があいさつ。アトラクションとして西原村の社会福祉協議会、福祉施設職員、役場職員で構成されたボランティア劇団が「自分のこつは自分でせなん」を上演。笑いの中に家庭での男女共同参画を訴えました。

その後、NPO阿蘇花野会会長などを務める、潮谷愛一氏が「共生の時代」と題して講演。同氏は日常生活を通じて「男女共同参画社会は男女ともに助け合い、体を動かすことからはじめよう」と話しました。

阿蘇地域に男女共同参画の輪を



▲潮谷氏の講演を聞く出席者。

## 狙われやすい高齢者を守る ～下西黒川区で勉強会～



▲消費生活相談員の話をも熱心に聞く参加者。

下西黒川区(石本今朝治区長)と同老人会(立石一年会長)は、様々なセールスに困惑されているお年寄りが地域にもいることから、昼間、1人になるお年寄りを悪質な訪問販売、電話での詐欺商法から守ろうと「消費生活豆知識講習会」を実施。

1月15日、公民館に集まり、阿蘇市消費生活相談員と市民課担当職員を迎え学習しました。終了後、「ある程度わかっていると思っていたが、知らないことがたくさんあった」「家に1人でいると電話セールスが多い、改めて警戒心が生まれた」「高齢者が的になっている、だまされやすい人は、玄関にステッカーを貼ろう」など感想を述べ、地域の安心安全につとめる取り組みが図られました。

阿蘇市消費生活相談室：  
阿蘇市役所市民課  
Tel：22-3364/Fax：22-3364

消費者契約法に基づき、商品やサービスなど消費生活全般に関する苦情や問い合わせに専門の相談員が公正な立場で対応いたします。

市役所にも相談所を開設しています。クーリングオフなど契約日に関わる場合がありますので、「しまった！」と思ったら、すぐにご相談ください。

また、被害を未然に防ぐため、「消費生活豆知識講習会」出張サービスも行なっています。ぜひ、お問い合わせください。



## ドラマの思い出のシーンを模型に



◀ 韓流ブームの火付け役となった韓国ドラマ「冬のソナタ」「オールイン」「チャングムの誓い」などの舞台となった名所や建物を模型にした家入正宣さん(63歳、坂梨)。

「お見事！」の言葉がつい出てしまうほど本物そっくりにできた模型の数々。その数23作品。これらを手がけた家入さんは、会社を定年退職後、趣味で小刀工作をされる程度でしたが、韓国ドラマの大ファンである奥さんへのプレゼントにと「冬のソナタ」の撮影スポット「メタセコイアの並木道」の模型を作ることに挑戦。作業が進むにつれ、より本物に近づきたい気持ちが加速し、ドラマのビデオが擦り切れるほど観察。メタセコイアの木が波野の木材店にあると聞きつけては飛んで行き調べるなど、工夫と根気でついにすばらしい模型が完成しました。奥さんの喜ぶ姿につい、「じゃ次はこれを作ってあげよう」と優しい人柄の家入さん。これが幸いしてさらにたくさんの作品製作へとつながりました。

### ペ・ヨンジュンさんと会いました

家入さん宅、今では部屋中が韓流の世界。模型は小道具まで丁寧に作ってあって、このことを女性週刊誌が掲載。偶然誌面を見て感激した主演のペ・ヨンジュンさんは、家入さんご夫婦を昨年11月韓国に招き、直接30分も会ってお礼を告げられたそうです。実際に撮影で身につけたマフラーもプレゼントされました。ちなみにペ・ヨンジュンさん、大変「よか男」だったそうです。



### これからも名シーンの模型、つくり続けます

「模型の材料は木材、軽石がほとんど。道具も日曜大工くらいのも。子どもの頃よくやった小刀遊びが今の趣味になっただけです」と好きなものを楽しみながら作る事が大事と家入さん。現在は「チャングムの誓い」の舞台「昌徳宮」(世界遺産)を製作中です。昨年韓国へ行き、本物はしっかり観察済み。大作の完成が楽しみです。興味のある方には、これらの作品を気軽に見せていただけるそうです。

## 県身障者歌謡祭で弓削さんが受賞



### 江入さんは自作の歌披露

第21回熊本県身体障害者歌謡祭が1月20日、熊本市の産業文化会館で開催され、阿蘇郡市を代表して、弓削喜代野さん(成川)と江入孝達さん(跡ヶ瀬)が出演。41人の出場者の中「女の駅」を歌われた弓削さんに熊本県民テレビ賞が贈られました。

「小さい頃から歌が好きでした。本番は広いステージとスポットライトで、緊張してのどがカラカラになりました」と喜びを語られ、また、江入さんはご自分で作詞されたオリジナル曲を歌い注目を浴びました。江入さんは現在3曲の自作の歌をお持ちということです。

◀ 会場まで応援に来てくれた皆さんに囲まれて。中央が弓削さん、右が江入さん

## 「地元の接待、何よりうれしい！」 観光客喜ぶ

### ～古閑の滝観光組合が設立～

滝が凍り大自然の美を醸し出す「古閑の滝」。場所は坂梨のJAガソリンスタンドから国道265号を200mほど上り左折、看板に従ったところに在ります。冬の季節は、凍った滝が数本見え、中でも落差100mの女滝と80mの男滝は見事です。↘



▲古閑の滝観光組合の皆さん。

ただ、ここは道や駐車場がせまいのが欠点。そこで「観光客の不便な様子を無視できない」「観光客が残すゴミ処理、清掃問題を解決したい」「地域の活性を図りたい」などの思いから、地域の有志らが立ち上がり『古閑の滝観光組合』を設立しました。中村平八郎さんをはじめ10人は早速、出資金で有料駐車場を整備。土・日曜日には古閑地区独特の美味しいだご汁が食べられる売店を開いています。訪れた観光客は「滝もずばらしいが、古閑の滝を誰よりも愛する地元の方がよかった」と、手作りの竹つえや長靴の貸し出しの心配りもうれしかった様子。

マイナス10℃で滝は凍ります。冬も後半、ぜひ皆さんも足を運んでずばらしいオブジェをお楽しみください。



夜間のライトアップは  
2/11・2/18

▲凍りついた滝。自然が作り出す芸術品です。

↘この様子を近年、雑誌やテレビが取り上げ全国に報道、また阿蘇周遊観光ルートに盛り込まれるなどで、年間約1万人の観光客が訪れるようになりました。



## 文化財を火災から守ろう

### 文化財防火デー・阿蘇神社消防訓練

文化財防火デーに伴い、第7回阿蘇神社消防訓練が1月26日、阿蘇広域行政事務組合消防本部、阿蘇市消防団ら約60人が参加し、実施されました。

訓練は、拝殿付近の火災を想定して行われ、はしご車からの放水、重要物件の搬出などを行いました。

阿蘇市には数多くの文化財、歴史的遺産がありますが、これらは非常にもろく、燃えやすいものがほとんどです。皆さんの地域の文化財を守るため、近くでの火の取りあつかいには充分気をつけてください。